

令和4年度 江南区組織目標

組織名	江南区	部長	坂井 玲子
組織の目的・方向性	都市的なたたずまいと緑豊かな田園・自然がバランスよく共存している地域特性や、地域が持つ宝、地域資源を活かすことでまちの魅力・活力を向上させるとともに、区民の皆さんの安心安全で健康な生活を守ることで「笑顔あふれる江南区」を実現します。		

江南区組織目標

<p>江南区の目標・方向性を実現するため、3つの視点により取組みを進めます。</p> <p>1つ目は「磨く」です。地域が持つ宝を磨いて可能性を引き出し、まちの活力向上につなげます。2つ目は「活かす」です。地域資源を活かし、まちの魅力を高めます。3つ目は「守る」です。区民の皆様の安心安全で健康な生活を守ります。</p> <p>この視点のもと、今年度は、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、次の5つの目標に重点的に取り組めます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 市街地周辺に農地が近接している江南区の特徴を活かし、区民により「農」に親んでもらうことで地元生産者や農産物への理解を深め、更なる地産地消の推進を図ります。【磨く】 区の地域特性を活かした魅力の発信や特産品などの地域資源を活かした取組を通して、区の知名度をさらに向上させます。【活かす】 民間活力を活かした公共施設の再編を行い、コミュニティ活動の活性化及び多世代交流を生み出すことにより、地域全体の活力を向上させます。【活かす】 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。【活かす】 地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現します。【守る】

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<ol style="list-style-type: none"> 家族で野菜をプランター栽培し収穫・調理まで体験する事業や、梅の花めぐりの開催、地域の特産品を使った料理レシピの紹介動画を制作しました。また、市民と協働で地元産クラフト納豆のブランド向上に取り組ましました。 区内の企業・団体から無償で物資の提供を受け、希望する江南区出身の大学生等に「ふるさと江南区宅配便」を発送しました。動画コンテストは、想定していた応募件数に達せず、中止となりましたが、ハーフマラソンの開催にあわせ、自治協議会との協働により江南区の特産品の PR 活動を実施しました。ま 				

	<p>た、魅力発信イベントの開催に向け、学生への調査を実施しました。</p> <p>3 曾野木コミュニティセンターは、コミュニティ活動や多世代が交流する拠点施設として整備され、ウッドショックの影響を受けたものも7月1日に無事開設しました。併せて、利用増進のため施設の備品等の整備を行いました。</p> <p>4 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図るため、7月から募集が開始された線引き見直しに際し、新潟県の示す区域区分見直しの基本方針に基づき、必要に応じて助言を行い、各開発予定者からの開発提案を受け付けました。また、(仮称)江南駅周辺土地区画整理事業の実現に向け、準備委員会に対する助言を行い、開発提案を受け付けました。</p> <p>5 広報のほか、区内商業施設での企画展示や商業関係者等への働きかけ等、広く事業周知を行った結果、多くの方から見守り隊メール及び子育て応援団に登録いただきました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 市街地に農地が隣接する特性を活かして、地元農産物や農業とのふれあいに資する企画を進めます。</p> <p>2 引き続き、江南区のPRやUターンに繋がる事業を実行委員会で検討し、取り組んでいきます。</p> <p>3 コミュニティセンターの利用増進に向け、PR活動などの取り組みを支援していきます。</p> <p>4 引き続き、市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。</p> <p>5 引き続き、創意工夫しながら広報等を行い、子育て世代、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを行います。</p>